



昭和17年頃撮影 場所不明

平成27年度企画展示

熊本市田原坂西南戦争資料館

太平洋戦争終結70年

日赤従軍看護婦

の記録

青春のすべてを戦傷病者の救護に
捧げた若き女性たちの物語

＋平成27年8月1日～8月31日

＋熊本市田原坂西南戦争資料館

☎096・272・4982

協賛 日本赤十字社 熊本県支部

太平洋戦争終結 70 年

日赤従軍看護婦の記録

—青春のすべてを戦傷病者の救護に捧げた、若き女性たちの物語—

西南戦争からちょうど 60 年目の昭和 12 年（1937）7 月 28 日、日本赤十字社に陸軍大臣から救護員要請がありました。この少し前、7 月 7 日には盧溝橋事件をきっかけに日中戦争が勃発。太平洋戦争へと発展する重要な要因ともなったのです。

熊本でも 8 月 19 日から中国、満州、南方の台湾、フィリピン、ジャワ、ミャンマーなどの兵站病院、九州各地の陸海軍病院などに派遣されました。軍人と同じ赤い戦時召集状が届き、召集解除は終戦の翌年、派遣年数は最長 5 年を超えるものでした。遠く異郷の地で殉職された方も大勢いらっしゃいます。

赤十字の旗のもと、崇高な精神と赤十字の誇りを胸に秘め、人道と博愛の心を持ち、使命感に燃えて、ただひたすらに青春のすべてを捧げて献身的に精一杯、息つく間もなく暖かい看護の手を差し伸べてきた日赤従軍看護婦たち。まさに「白衣の天使」でした。救護員十訓の厳しい赤十字精神とお互いの友情愛がこうした活動を支えていました。

当時の若い女性の羨望の的だった日赤看護婦たちも、戦争が激化し敗戦の色も濃くなった頃には、幾多の困難が行く手を遮ります。死線を越えた看護婦たちには、想像を絶する苦難がありました。戦争後も世の中全体が茫然自失の中、しばらくはこうした救護が続きます。

今回の展示では、その一部を紹介できるにすぎません。しかし、展示を通じて、より多くの方々に救護活動を知っていただき、戦争体験者が減少しつつある今、安全で平和な時代の大切さを一緒に考えたいと思います。

今回は日本赤十字社熊本県支部の全面的なご協力、監修のもと、戦後 70 年を経てはじめて展示する貴重な資料がたくさんあります。皆様方のお越しをお待ちしております。

主な展示物

救護関係

- ・飯盒、戦時看護略帽
- ・日赤救護員手牒、徽章類
- ・病院船景山丸の記念帳『従軍』
- ・写真、パネル、名簿 など

軍事関係

- ・軍服、陶器製手榴弾弾殻、千人針、軍事郵便、警戒管制時屋内電燈遮光具 など

その他

- ・戦争関連の記事が目立つ戦前、戦中の新聞
- ・戦前、戦中と戦後の女性雑誌 など

展示内容は都合により変更になる場合があります。

※新館オープンのため 9 月 1 日から一時休館します。



交通案内

- ・九州自動車道植木 IC より……………約 8 km
- ・JR 鹿児島本線木葉駅より……………タクシー約 10 分
- ・JR 鹿児島本線植木駅より……………タクシー約 15 分
- ・JR 鹿児島本線田原坂駅より……………徒歩約 30 分
- ・産交バス 鈴麦バス停下車……………徒歩約 20 分
- ・産交バス 七本バス停下車……………徒歩約 20 分
- ・産交バス 植木バス停下車……………タクシー約 10 分

利用案内

- ・一般（高校生以上）210 円（個人）、180 円（20 名以上の団体）
 - ・小・中学生 100 円（個人）、80 円（20 名以上の団体）
- ※ただし乳幼児、身体障害者手帳等をお持ちの方、熊本市・鹿児島市・福岡市・北九州市内の小・中学生（名札か生徒手帳提示）及び 65 歳以上の方（証明できるものを提示）等の入場は無料です。



熊本市田原坂西南戦争資料館

〒861-0163
熊本市北区植木町豊岡 862 番地
☎096-272-4982

熊本市役所文化振興課 植木分室

〒861-0195
熊本市北区植木町岩野 238 番地 1
☎096-272-0551